

令和3年度「全国学力・学習状況調査」の江東区の状況について【小学校・義務教育学校（前期課程）】

令和3年12月6日
指 導 室

1 調査目的

義務教育の機会均等と水準の維持向上の観点から、全国的な児童の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象

小学校・義務教育学校
第6学年児童
(3,873人実施)

3 調査方法・内容

- (1)児童に対する調査
①教科に関する調査
(国語、算数)
主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に出題。
②質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
(2)学校質問紙調査
学校における指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

4 調査実施日

令和3年5月27日(木)

5 教科に関する調査（国語、算数）の結果の概要

<小学校・義務教育学校（前期課程）>

国語・算数

太字ゴシック (網掛け) : 全国・都ともに上回ったもの
太字ゴシック : 全国のみ上回ったもの

・平成29年度 ※平成29年度より正答率は整数値で表すことになった。

	国語A		国語B		算数A		算数B		指標
	正答率	計算値	正答率	計算値	正答率	計算値	正答率	計算値	
江東区	79	103.9	63	105	83	102.5	53	108.2	104.9
東京都	76	100	60	100	81	100	49	100	
全国	75	98.7	58	96.7	79	97.5	46	93.9	

・平成30年度

	国語A		国語B		算数A		算数B		指標
	正答率	計算値	正答率	計算値	正答率	計算値	正答率	計算値	
江東区	77	104.1	60	105.3	71	106	60	109.1	106.1
東京都	74	100	57	100	67	100	55	100	
全国	71	95.9	55	96.5	64	95.5	52	94.5	

・令和元年度 ※令和元年度よりA問題、B問題の区別がなくなった。

	国語		算数		指標
	正答率	計算値	正答率	計算値	
江東区	68	104.6	74	105.7	105.2
東京都	65	100	70	100	
全国	64	98.5	67	95.7	

・令和2年度 (新型コロナウイルス感染症の影響により、実施せず。)

・令和3年度

	国語		算数		指標
	正答率	計算値	正答率	計算値	
江東区	72	105.9	77	104.1	105
東京都	68	100	74	100	
全国	64	95.1	70.2	94.9	

6 江東区長期計画の指標との関連 ()内は令和元年度の数値

指標名	目標値 令和6年度	令和3年度		
		江東区	東京都	全国
全国学力学習状況調査で都平均を100としたときの区の数値	107	105 (105.2)	100	95 (97.1)
自分にはよいところがあると思う児童の割合	87%	75.5% (80.6%)	77.2% (81.3%)	76.9% (81.2%)
人の役に立つ人間になりたいと思う児童の割合	96%	94.3% (94.6%)	94.6% (94.3%)	95.5% (95.2%)

7 児童質問紙調査の結果の概要

○ 学校生活について

「学校に行くのは楽しいと思う」と回答している児童の割合は、国83.4%、都82.7%、本区80.6% (令和元年度比 国-2.4ポイント、都-2ポイント、本区-3.8ポイント) であり、前回調査に引き続き80%を超えているが、減少している。

○ 自己肯定感について

「自分にはよいところがある」と回答している児童の割合は、国76.9%、都77.2%、本区は75.5% (令和元年度比 国-4.3ポイント、都-4.1ポイント、本区-4.9ポイント) であり、前回調査と比べて減少している。

○ いじめについて

「どんな理由があってもいけないことだ」と回答している児童の割合は、国96.8%、都96%、本区は95.4% (令和元年度比 国-0.3ポイント、都-0.4ポイント、本区-0.9ポイント) であり、前回調査に引き続き95%を超えているが減少している。

○ 地域とのかかわりについて

「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」と答えた児童の割合は、国52.4%、都52.3%、本区は53.1% (令和元年度比 国-2.2ポイント、都-2.1ポイント、本区-4.5ポイント) であり、前回調査からの減少は見られるが、国や都の数値と比べると、わずかに高い数値である。

8 こうとう学びスタンダードとの関連

- 家庭学習について①【月～金曜日の間に1日60分以上勉強をする児童の割合】
国：62.5% 都：66% 本区：74.5% (令和元年度比 本区+0.2ポイント)
- 家庭学習について②【家で、自分で計画を立てて勉強している児童の割合】
国：74% 都：75.2% 本区：79.4% (令和元年度比 本区+4.5ポイント)
- 読書への親しみについて【月～金曜日の間に1日30分以上読書している児童の割合】
国：37.4% 都：41.4% 本区：44.7% (令和元年度比 本区-0.2ポイント)

1 調査目的

義務教育の機会均等と水準の維持向上の観点から、全国的な児童の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象

中学校第3学年生徒
義務教育学校第9学年生徒
(2,524人実施)

3 調査方法・内容

- (1) 生徒に対する調査
① 教科に関する調査
・国語・数学
主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に出題。
② 質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
(2) 学校に対する質問紙調査
学校における指導方法に関する取組や人的・物的・教育条件の整備の状況に関する調査

4 調査実施日

令和3年5月27日(木)

5 教科に関する調査（国語、数学、英語）の結果の概要

＜中学校・義務教育学校（後期課程）＞

国語・数学・英語

太字ゴシック (網掛け)：全国・都ともに上回ったもの
太字ゴシック：全国のみ上回ったもの

・平成29年度 ※平成29年度より正答率は整数値で表すことになった。

	国語A		国語B		数学A		数学B		指標
	正答率	計算値	正答率	計算値	正答率	計算値	正答率	計算値	
江東区	79	100	74	100	66	100	50	100	100.0
東京都	79	100	74	100	66	100	50	100	
全国	77	97.5	72	97.3	65	98.5	48	96	

・平成30年度

	国語A		国語B		数学A		数学B		指標
	正答率	計算値	正答率	計算値	正答率	計算値	正答率	計算値	
江東区	77	100	64	101.6	68	101.5	50	102	101.3
東京都	77	100	63	100	67	100	49	100	
全国	76	98.7	61	96.8	66	98.5	47	95.9	

・令和元年度 ※令和元年度よりA問題、B問題の区別がなくなった。

	国語		数学		指標	英語	
	正答率	計算値	正答率	計算値		正答率	計算値
江東区	76	102.7	63	101.6	102.2	60.0	100.8
東京都	74	100	62	100		59.5	100
全国	73	98.6	60	96.8		56.0	94.1

・令和2年度（新型コロナウイルス感染症拡大により、実施せず。）

・令和3年度

	国語		数学		指標
	正答率	計算値	正答率	計算値	
江東区	68	101.5	62	103.3	102.4
東京都	67	100	60	100	
全国	64.6	96.4	57.2	95.3	

6 江東区長期計画の指標との関連 ()内は令和元年度の数値

指標名	目標値 令和6年度	令和3年度		
		江東区	東京都	全国
全国学力学習状況調査で都平均を100としたときの区の数値	105	102.4 (102.2)	100	95.9 (97.7)
自分にはよいところがあると思う生徒の割合	80%	71.9% (73.3%)	76.3% (74.1%)	76.2% (74.1%)
人の役に立つ人間になりたいと思う生徒の割合	93%	92.7% (92%)	93.4% (92.7%)	95% (94.3%)

7 生徒質問紙調査の結果の概要

○ 学校生活について

「学校に行くのは楽しいと思う」と回答している生徒の割合は、国81.1%、都80.8%、本区78.8%（令和元年度比 国-0.8ポイント、都+0.2ポイント、本区-3.4ポイント）であり、前回調査と比べて国、区ともに減少している。

○ 自己肯定感について

「自分にはよいところがある」と回答している生徒の割合は、国76.2%、都76.3%、本区は71.9%（令和元年度比 国+2.1ポイント、都+2.2ポイント、本区-1.4ポイント）であり、前回調査と比べて減少している。

○ いじめについて

「どんな理由があってもいけないことだ」と回答している生徒の割合は、全国95.9%、都94.5%、本区は94.1%（令和元年度比 国-0.1ポイント、都-0.5ポイント、本区-1.5ポイント）であり、前回調査に引き続き90%を超えている。

○ 地域とのかかわりについて

「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」と答えた生徒の割合は、全国43.8%、都41.4%、本区は39.8%（令和元年度比、全国+4.4ポイント、都+2.7ポイント、本区は-0.6ポイント）であり、前回調査と比べてわずかながら減少している。

8 こうとう学びスタンダードとの関連

- 家庭学習について①【月～金曜日の間に1日60分以上勉強をする生徒の割合】
国：75.9% 都：78.7% 本区：82.4%（令和元年度比 本区+8.5ポイント）
- 家庭学習について②【家で、自分で計画を立てて勉強している生徒の割合】
国：63.5% 都：62.6% 本区：62.1%（令和元年度比 本区+12.3ポイント）
- 読書への親しみについて【月～金曜日の間に1日30分以上読書している生徒の割合】
国：28.9% 都：29.1% 本区：28.8%（令和元年度比 本区+3.2ポイント）